

1984
陕西师范大学



陕西师范大学

ご 挨拶

本日は御多忙中を、私達東西四大学合唱演奏会においで下さいましてありがとうございます。

私達は、1952年の第1回演奏会以来、幾多の困難を乗り越え克服して、本日、18回目の演奏会を迎えることになりました。これも皆様方の暖い御支援の賜物と深く感謝しております。

遠隔の四校が一堂に会して演奏会を催すことは大変意義深いことであり、単なる発表の場として終ることなく、相互の刺激と励ましとによっての切磋琢磨を通して、高度な合唱精神、合唱技術を身につけ一層の発展を得るとともに、少しでも日本の合唱音楽の向上に役立てばと考えております。

最後にこの演奏会を開催するに当たり、御援助、御指導下さいました諸先生、関係者の皆様に厚く御礼申し上げるとともに、今後ともよろしく御鞭撻下さいますようお願い致します。

東西四大学合唱連盟

第 18 回

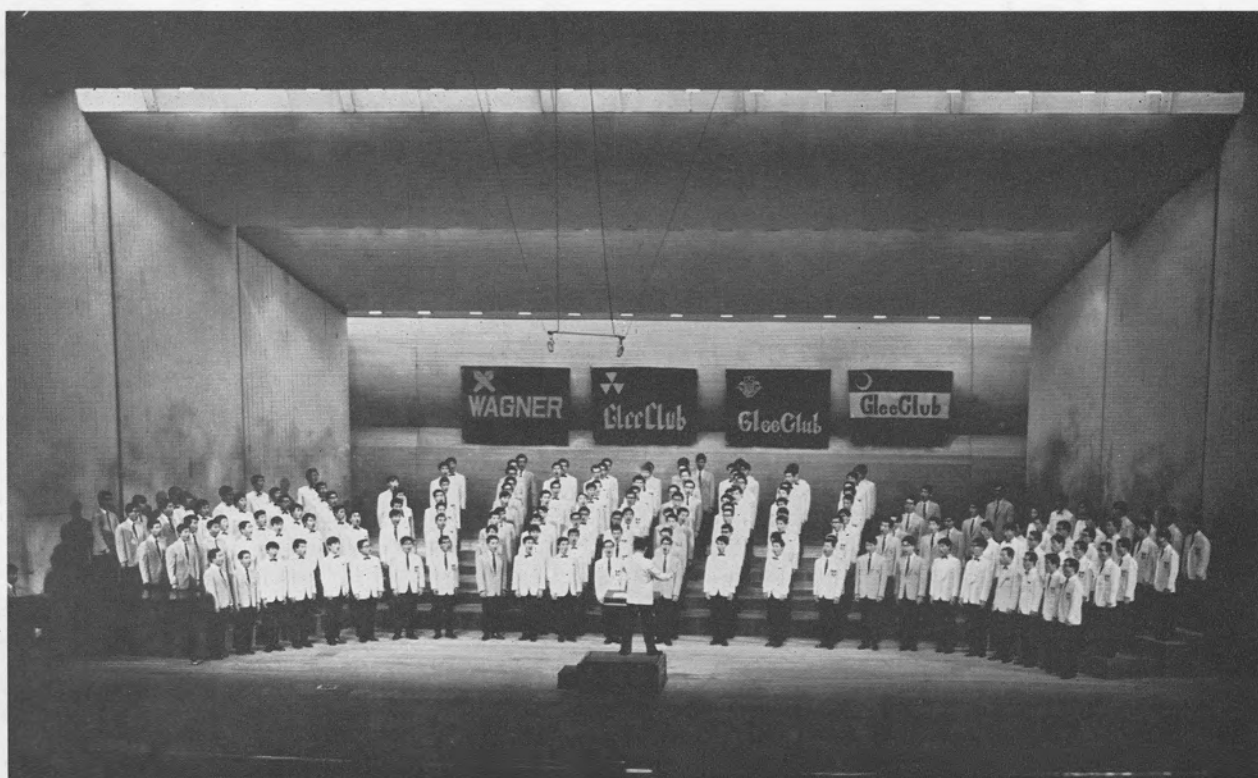
東西四大学合唱演奏会

1969

6月21日〈土〉6:30 P.M.

6月22日〈日〉6:30 P.M.

東京文化会館大ホール



プログラム

エール交歓

同 志 社
早 稲 田
関 西 学 院
慶 応 義 塾

同志社大グリークラブ

四つの仕事唄

はや
囃 し 田
石 切 唄
どう
胴 搦 き
酒 屋 唄

指 揮 日下部 吉彦
作 曲 小 山 清 茂

慶応義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

Missa Mater Patris

Kyrie
Gloria
Credo
Sanctus
Benedictus
Agnus Dei

指 揮 木 下 保
作 曲 Josquin des Prez

プログラム

関西学院大学グリークラブ

組曲 「雨」

指揮 北村 協一

作曲 多田 武彦

1. 雨の来る前

作詞 伊藤 整

2. 武蔵野の雨

作詞 大木 惇夫

3. 雨の日の遊動円木

作詞 大木 惇夫

4. 十一月に降る雨

作詞 堀口 大学

5. 雨の日に見る

作詞 大木 惇夫

6. 雨

作詞 八木 重吉

早稲田大学グリークラブ

コダーイ合唱曲集

指揮 濱田 徳昭

作曲 Zoltán Kodály

ひとりもの

孔雀

酒の唄

兵士の歌

合同演奏

Messe Solennelle

指揮 濱田 徳昭

作曲 Albert Duhaupas

Kyrie

Credo

Agnus Dei

四つの仕事唄

日下部 吉彦

日本民謡を素材にした合唱曲は数え切れぬほどある。またどの合唱演奏会へ行っても、日本民謡のステージが必ずといっていいほど用意されている。しかしながら、そこで聞かれる日本民謡が、ほんとうの日本民謡であるかどうか、甚だ疑問の場合が多い。

“そーらん節”“安来節”“佐渡おけさ”など、多くの日本民謡は、人々の手あかで汚されてゆくうちに、土の香を失って脂粉の香を身につけた。民謡を産み出した民衆のバイタリティやさけび、悲しみ、ユーモアなどを洗い落してしまった、お座敷小唄になり果てたのである。

どこの国の民謡もそうだが、その元唄の多くは民衆の労働歌、つまりワークソングである。ある唄は仕事をしながら唄う歌であり、ある唄は、ひと休みしたときに仕事の憂さをはらすストレス解消の歌であることもある、しかしいずれにしても、これらの歌には働く民衆の荒々しい息使いが聞こえてこなければならない。ちょうど黒人霊歌の多くがそうであるように。

日本の国土にも、このように根強く美しい歌の数々が、土に埋もれてたくさん残されているに違いない。それを発掘しようと六年前、小山清茂さんと私はデンスケをかついで山村僻地を歩いた。そのとき採集された唄を土台にして作曲されたのがこの組曲である。このほかにも民謡研究家町田佳声氏の資料もたくさん拝借した。小山さんは作曲に当って、原曲のイメージをこわさないように努め、わざと非音楽的な手法をとるなど、従来の常識を破る音処理を試みている。この曲は昭和38年度芸術祭に参加して、東京混声合唱団によって初演され、朝日放送から放送された。組曲は次の四つの部分から成っている。

- ① 「^{はやしだ}囃し田」 山陰地方の田植え歌。
- ② 「石切唄」 香川県小豆島の石材労働者の歌。
- ③ 「^{どうつ}胴搦き」 土工たちによるいわゆるヨイトマケ。
- ④ 「酒屋唄」 岩手県地方南部杜氏の酒造り唄。



指揮者プロフィール

日下部 吉彦

同志社大学英文科卒。在学中から卓越した学生指揮者として知られ。同志社グリークラブの戦後の礎を築いた。森本芳雄、ウィリアムスンに就事。同志社OBが中心となるクローバークラブの創設以来の常任指揮者として、とくに全日本合唱コンクールに三年連続優勝した偉業は輝かしい。朝日新聞記者から朝日放送音楽プロデューサーに転出、「嫁ぐ娘に」「青い葦とりんどうの話」など数々の作品を制作して、芸術祭に数多くの受賞歴を持っている。

現在は音楽評論家として東京、大阪をまたにかけて活躍、新聞、雑誌に健筆をふるっている。音楽クリティック・クラブ同人、大阪府合唱連盟理事、東京都合唱連盟会員。

Missa Mater Patris

“Missa Mater Patris”の作曲者 Josquin des Prez (1450?~1521)は、ゴシックからルネッサンスの移行期に、当時のヨーロッパの音楽における指導者の殆んどを供給していたネーデルランド楽派の最大の巨匠として、ポリフォニー音楽の隆盛に貢献した。ジョスカンは、デュファイ、パンショワ、ラッソ等、この楽派の中心人物を輩出したエイノーに生れ、ミラノのスフォルツァの宮廷礼拝堂や、ヴァチカン礼拝堂、さらにカンブレールや、モデナでも活躍した。又、「フェラッラ王ヘラクレス」と献呈の辞を付した「ミサ曲」からフェラッラの公爵邸に居たことも知られる。彼は1994年以後フランスに渡り、ルイXIIIに奉仕した。ルイXIIIは自らよく歌ったので彼を加えたカノン作曲し、ジョスカンと王との友情は深厚であった。王がテノールを歌い他の二声が上声部を、そして低音をジョスカン自身が歌った。彼は1521年コンデの受禄僧として死んだ。ジョスカンは18曲以上のミサ曲、モテットなどの宗教曲からシャンソン、フロトラーなどの世俗曲にいたるまで数多くの美しい作品を残した。彼は15世紀のあらゆる成果を総合し、それに新たな意味を吹き込んで16世紀に伝えたのである。

ジョスカンを絶頂とするネーデルランドの音楽を詳しく見ると、そこにはゴシック建築の精神に通じるものと言ってよい数多くの特質があらわれている。対位法の芸術は Bach の芸術の一面を除いては、その後の様式には全く見られない技術上の最高の妙技と複雑さ、組織的論理的な展開の巧みさを示している。それはゴシック精神をいきいきと蘇らせている。ネーデルランドのミサ曲やモテットに見られる堂々たる声部の集積、カノン手法の複雑な精妙さ、互いに平行し、斜行し、反行して流れる幻想的な旋律や、それにまじる休止と、珍しい大胆なコロラトゥーラは、ゴシック聖堂の尖ったアーチ、細い尖塔、高くのびる柱、複雑な線の戯れの反映である。我を忘れた信仰と、空想的な幻影の戯れが、最も厳しくひきしまった複雑な構造のプランと独特の手法で結ばれているが、これはゴシック建築にも同じく見られる。明らかに両立し難い要素の巧みな結合である。その音楽の不可欠の要素は、多声音楽であり、厳格な線の様式は、ここに最高の完成に達している。そして“Missa Mater Patris”はこの特質を全部備えていると云えるであろう。

“Missa Mater Patris”は1514年、Petrucci (世界最初の出版者)の出版した Josquin のミサ曲第三巻に納められたもので、Missa Parodia (もじりミサ) の先駆となった歴史的に重要な作品である。Josquin はこの曲に於て、A. Brumel (1475~1526) 作曲の“Mater Patris et Filia”という三声のモテットを借用した。モテットにミサの歌詞を配し、編曲してミサとしたのである。

A. Brumel のモテットから構成した Josquin のその手法は、多くの特徴を持っている。第一に三声の原曲を四声、五声に増加した事。第二に Bass の上に平行 6—4 度のコードを何小節にも渡って続けて用いている事。第三に各声部間で繰り返しの多い事、等である。繰り返しによる効果は Josquin のミサに於て強調され、五声の第 3 Agnus Dei の最後に上部四声が下降テーマを繰り返し歌う時、非常に強い印象を与えられる。(譜例 1)

Kyrie 三部に分れているが、三部共原曲に近い形で作曲されている。

Gloria “Gratias”まで Parodia である。Parodia は最後の部分である“cum sancto spiritu”で原曲と同様二拍手から三拍手に変わる所に於ても見られる。(譜例 2)

Credo 自由な Parodia で始まり13小節目から原曲と離れる。

Sanctus ここでは明らかに Parodia と思われるのは最初のフレーズに限られる。二声部による二度のカノンは絶品である。

Agnus Dei (第一) 四声の Parodia で下から湧き上るような美しい曲である。(第二) 二声で、Sanctus 同様原曲の中間部から自由に旋律をとり出して使っている。(第三) Brumel の原曲は三声であるが、それに後二声を加えた五声とし、原曲より遥かに壮大な音楽を創り出した絶品と云えよう。即ちこの部分は、前にも触れた様に Josquin に独特の強烈な模倣を繰り返しの例である。三拍子に入る所で、Brumel の“Et preci bus”を“Dona nobis pacem”と歌い、次に四声が譜例のメロディーを繰り返し模倣する。ここに到るや、Brumel のモテットは、完全に Josquin のミサになってしまうのである。

16世紀の合唱がそうであったように、このミサも何らかの楽器の補助によって演奏されたと思われるが、今夜は皆川達夫氏編曲による男声四部合唱で演奏する。



指揮者プロフィール

木 下 保

明治36年10月14日、兵庫県豊岡に生まれる。昭和3年東京音楽学校を卒業。在学中は、ワグネル・ソサィエティー定期演奏会において、テナー・ソリストとして活躍される一方コーラス部門の指導にもあたられた。昭和8年から10年まで留学され、ネトケ・レーヴェ、パイセンボル両氏に師事された。帰国後は、母校の教授として教鞭をとられるかわらり歌手として活躍され、辞任後はオペラにも進出され、「夕鶴」などに出演された。先生は、昭和30年ワグネル・ソサィエティー男声合唱団の顧問指揮者に就任され、現在では洗足学園大学教授、大阪音楽大学講師、日本女子大学、聖心女子大学合唱など、プロ・アマの数々の著名な合唱団の指揮者として文字通り東奔西走の御活躍をされている。

男声合唱曲「雨」について

多田 武彦

第1曲の「雨の来る前」は昭和35年度合唱コンクール課題曲入賞作品であるが、かねてから、これに数曲を続けて組曲としたいと思っていた。したがって、第1曲「雨の来る前」と第2曲「武蔵野の雨」によって、まず自然現象としての雨を捉え、第3曲「雨の日の遊動円木」では、人のいない雨の日の児童公園の冷たい風情の中に人間の孤独感や悲哀感をにじませ、第4曲「11月にふる雨」では、突き刺すようなモチーフにより悲哀感を盛りあげた、そして第5曲「雨の日に見る」では、冬の雨の日の冷気を通して、孤独感や悲哀感にうちひしがれた主人公が、庭に見事にみのったザボンの実（ある人にとっては、それは手のとどかないところにいる美しい恋人であり、ある人にとっては、それは到底実現しそうにもない輝かしい理想でもあるが）と対峙する姿を浮彫にし、第6曲「雨」では、こうした苦しみや悩みから昇華し切った主人公が、溢れ出ようとする涙をおさえて、坦々と歌う曲想とした。

この組曲は、はからずも、最近、特に、多くの大学のグリークラブの諸君に共感をよんでいるが、私に対しても、「いつでも作曲の筆を折っていい」と思わせたり、とりわけ、第6曲「雨」は、私の臨終における鎮魂曲として、私の心の奥深くに、刻みこまれてしまった。

I 雨の来る前

伊藤 整 作詩

ざあっとやって来いよ 夏の雨
地上のすべてのものは用意している。
山の麓から低くかぶさってしまった雲よ。
夏の緑はうす暗い蔭におおわれ
物ほしに白いものがかかり
燕は黒く曇天の下を飛び交い
人は重い頭をして室にいる。
降って来いよ 夏の夕立
その時 始めて人の目はほっと開かれ
草木も葉を そよがせるのだ。

III 雨の日の遊動円木

大木惇夫 作詩

雨の日の遊動円木
びしょびしょ濡れて ただ光って
動くは低い雲ばかり。
雨の日の遊動円木
鐘が鳴っても 昼やすみでも
ゆすぶるものは 風ばかり。
雨の日の遊動円木
落ちる銀杏葉 ゆうかりの葉
雀が吹かれて 乗るばかり。

II 武蔵野の雨

大木惇夫 作詩

群鳥を追いながら
どの土地を濡らしにゆく
月の夜ごろを掠める雨
櫛の勾いのふんとする雨
武者野の雨

VI 雨

八木重吉 作詩

雨のおとが きこえる
雨がふっていたのだ。
あのおとのように そっと世のために
はたらいていよう。
雨があがるように しずかに死んでゆころ。



指揮者プロフィール

北村 協一

昭和29年、関西学院大学経済学部卒業。在学中、関西学院グリークラブの指揮者として活躍。卒業後、東京コラリアーズ入団。昭和31年、同団の指揮者ルナ・アルモニコの指揮者等を経て、昭和36年、藤原歌劇団入団。合唱部クールプティ―専任指揮を務め、昭和38年6月、同団によるブッチェニ「外套」を指揮、オペラ指揮者としてデビュー。昭和40年退団。東京コラリアーズ指揮者。グリークラブ渡米指揮者。畑中良輔、森正、今村征男の各氏に師事。二期会研修生講師。
現在、二期会合唱団常任指揮者。

コーダイ合唱曲集

一昨年(1967)の3月6日、ハンガリー国民が大きな尊敬の念を抱いている作曲家ゾルターン・コダーイ Zoltán Kodály (1882—1967) が亡くなった。ハンガリーは、地理的には昔から高度な音楽芸術を創造してきた西ヨーロッパに隣接しているが、民族独自の音楽を高度に発展させることができなかった。今世紀にはいってようやく彼らマジャール民族の血からわき出た音楽を生み出した2人の偉大な音楽家を得たといえる。つまりコダーイとその友人ベラ・バルトーク Béla Bartók (1881—1945) の2人である。彼らはいずれもハンガリーに古くから伝わる民謡を自らの足で採譜し、そこから彼らの見事な芸術の花を咲かせた。

さて、コダーイは音楽好きの両親のもとにケツケメート Kecskenét に生まれ、1902年ブタペスト音楽院に入学、作曲をハンス・ケスラー Hans Koessler (1853—1926) に学んだ。彼は音楽院での一級上のバルトークと共にマジャール民謡の研究に没頭し、以後、民謡の研究とそれに基づく作曲、そして国民的な音楽教育に一生をささげた。

彼の作品は、我が国では組曲「ハーリ・ヤーノシュ」(1926)などがよく知られているが、むしろ彼の本領は合唱曲にあり、マジャールの古い精神あふれた「ハンガリー詩篇」(1923)は彼の最高傑作といわれている。合唱曲は特にマジャールの要素を強く持っており、又16世紀のパレストリーナ風のポリフォニーの扱いはなかなか見事なものを見せている。そしてこれらが実によく融合しているのである。

今宵、私達はいずれもエネルギー溢れるマジャール精神のみなごる合唱曲を4曲とり上げる。

「ひとりもの」 Kitkéne elevenni ?

これは1934年に作られた曲で、「一体どんな娘を嫁にもらったらいいだろうか。お嬢さんも後家さんも貧しい娘も、皆それぞれ欠点がある。まあひとりものは気楽だし、そうあわてることもない」といった愉快な曲である。テノール、バリトン、バスの3声部による曲である。

「孔雀」 Felszállott a páva.....

これは1937年に作曲され、やはり3声部で歌われる。この曲は祖国ハンガリーを想う民族の魂をゆさぶる内容を持っている。ちょうど第2次大戦の前夜に作られたものであるが、マジャール民族のエネルギー溢れる血を感じる。曲は民族的な音階に基づき、各声部がメロディーを受けついで進行するポリフォニーの手法はなかなか見事なものである。

「酒の唄」 Bortal

この曲はハンガリーのロマンティックな理想主義の詩人フェレンツ・ケルチェイ Ferenc Kölcsey (1790—1838) の詩に基づいており、1913年に作曲された4声部の曲である。「酒は人生の喜びを増し、悲しみを消してくれるものだ。さあ飲もう。」と歌っている。

「兵士の歌」 Katonadal

「ひとりもの」と同じ1934年に作られた3声部の曲で、兵役についている一人の兵士が、長い軍隊生活の中が故郷に残してきたいという娘を想う、大戦前夜の有様を描いている。ここにも又民族の精神がにじみ出ている、曲頭のバスとバリトンによる5度のポリフォニーはなかなか面白い。この曲では男声合唱にトランペットとサイド・ドラムがついている

以上の4曲ともハンガリーの民族音楽をほうふつさせるものがある。しかし、コダーイのこうした民族主義は、決して民謡のモチーフをそのまま使用したり、それに少々手を加えた程度のもではなかった。ここにバルトークが述べた言葉を引用しよう。「作曲家は、ただ民謡の旋律をオリジナルの形のまま、あるいは少々手を加えた程度でとり入れる場合もある。しかし、民謡が影響を与えるいろいろな形のなかで断然重要なのは、民謡の旋律をそのままいただいたり、模倣したりすることではなくて、民族音楽と同じ雰囲気を作曲家が創り出すことである。そうしたときにはじめて、その作曲家は郷土の特殊な音楽語法を真に身につけたといえるのである。つまり、詩人が自国語を自由に駆使するのと同じように、自国の音楽のこばを駆使できるからである。」バルトークは以上の実例の最高のものがコダーイだ、といっているのである。

指揮者プロフィール

濱田 徳 昭

＜略歴＞

昭和4年山口県に生まれ、6才より母親にヴァイオリンを学び始める。斉藤秀雄氏にチェロ及び指揮法を学び、諸井三郎氏に作曲法を学ぶ。

1963年、イタリア政府の招聘で渡欧、国立放送RAIやミラノ・テアトロ・ヌオーヴォのプレジデントに認められる。サンタチェチーリア音楽院管弦楽団の定期演奏会をはじめ、ナポリ・スカラルラッティ管弦楽団、シチリア交響楽団等のオーケストラ、トリエステ市立歌劇場、ミラノ・テアトロ・ヌオーヴォの公演を指揮し成功をおさめる。この間、広島大学教育学部、武蔵野音楽大学を経て、現在九州大学助教授として、国立芸術工科大学に就任している。

＜プロフィール＞

昨年、京都、大阪で開かれた四連で指揮をしていただいたのが御縁で、本年度より常任指揮者としてお迎えしました。

早大グリーは、ここ10年近く常任指揮者を置かず、演奏会毎に客演指揮者を迎えるというシステムをとり、グリーを構成する部員の自主性を尊重していたのですが、先生は就任以来ずっと、この過去の長所である学生の自主性を強調され、本来我々の方から主張すべきことを、先生が口をすっぱくしておっしゃるのは恐縮したものでした。

また先生は練習中、音楽の領域外にも非常に有益なお話をして下さり、我々も聴き入ってしまっていて、気がつくまで練習時間をとくにオーバーしていたということもしばしばです。我々はまた、従来の指揮者に見られなかったオーケストラの捧さばきにも新鮮さを感じ、その大きな曲の把握に驚嘆するのです。

こうした、厳しさの中にも暖かみのある練習に大きな意義を見出し、先生と一体になって音楽を創り出す喜びを感じる時、我々は生の衝動を覚えるのです。



クラブ紹介



同志社グリークラブ

我クラブは今年で創立65年で、その目的たる「同志社精神を載し、メンバー相互のメンタルハーモニー、カレッジライフの向上」に不断の精進を続けております。明治35・36年頃は単に讃美歌を練習するための小グループだったのですが、明治44年現名誉顧問片桐哲先生がこれをグリークラブと名付け、始めて組織化されました。しかし聖歌隊的なものに飽きたらない学生が大正二年プリムローズなる合唱団を組織、一般の合唱音楽の研究につとめるようになりました。以後両合唱団は或は共に或は別に活躍し、その足跡は遠く満州、朝鮮、中国、台湾に及んでいます。昭和16年両合唱団は合併し、同志社大学男声合唱団となり、戦後いちはやく復活し、同志社グリークラブとして今日に至っております。その間、毎年の定期演奏会、関西六大学合唱演奏会、関西学院グリークラブとの交歓演奏会、テレビ・ラジオ放送、演奏旅行などに努力を続けて来ております。かくの如く半世紀を超える輝かしい歴史の間、1,000名近い先輩を送り、今なお音楽界で活躍中の内田栄一、大中寅二、湯浅永年、山口隆後、宅孝二、水谷央、今西善治郎の諸氏もその一人であります。

現在、福永陽一郎先生を技術顧問、大久保昭男先生をヴォイストレーナーとしてお迎えし、又今年先輩の日下部吉彦氏を指揮者としてお迎えして、より高度な音楽の創造を目的になお一層前進せんと努力いたしております。



慶應ワグネルソサィエティー合唱団

今年3月、ニューヨーク、リンカーン・センターで開催された第2回世界大学合唱祭に参加した私たちワグネル・ソサィエティー男声合唱団は、アメリカ各地での演奏旅行を圧倒的な成功のうちに無事終了し、4月10日帰国しました。今度の私たちのアメリカ演奏旅行は、1902年にワグネルが創立されて以来の大きなイヴェントの一つですが、これも今日に至るまで、幾重もの禍福を経たワグネルの伝統と、ワグネルに集まる音楽を愛する数多くの先輩のおかげに他なりません。

年間の主な活動としては、定期演奏会をはじめとして、東西四大学、東京六大学、それに早慶交歓演会、春夏の合宿及び演奏旅行等数多くあります。しかしアマチュア合唱団であるワグネルにとって練習こそ、真の活動の主体でなければなりません。そしてワグネル部員が一心同体となって、最高の音楽性をめざし、練習の中で美しいものに対する素直な感動と感受性を豊かにすることができたらと思うのです。

幸いにして、私達は、木下保、畑中良輔両先生をはじめ、大久保昭男先生、三浦洋一先生、細川哲朗先生、そして福永陽一郎先生、北村協一先生にご指導を賜わり、今後もより高い音楽の創造を目的に、またより充実した学生生活を送るために努力するつもりでおります。

◎同級会等のご会合に小洞天の中国料理が大変喜ばれております

お料理はお一人様1,500円よりお受け致しております

◎ご会合、ご家庭の新築祝に皆さんお揃いでお祝いできます 出張料理

(一卓10名様20,000円より)が好評です

なお食器他必要なものは全部取揃えて持参します。ご用命をお待ちしております

日本橋小洞天

中央区日本橋通り一丁目四番地
電話 東京 (272) 1071 ~ 5

クラブ紹介



関西学院グリークラブ

緑なす六甲の山並を背に、波静かな瀬戸内海を眼下に見下す高台、美しく静かな環境に恵まれた神戸原田の森の関西学院に、我国初の男職合唱団として、関西学院グリークラブが誕生したのは、19世紀もいよいよ最後という1899年のことでした。キリスト教精神によって建てられたこの学院には、創立当初からすでに音楽がありました。

明治29年以来、関西学院では毎年1回、英語会が催されていましたが明治32年、そのプログラムに合唱を入れようということになり、初めて正式に合唱団が組織され、当時の吉岡院長がその合唱団を「GLEE CLUB」と名付けました。これが日本の数あるグリークラブの始まりであり、我国最古の伝統を誇る関西学院グリークラブの起源であります。

この英語会で、グリークラブとして最初に演奏した曲は、現在なお歌い続けられている College Song “Old Kwansai” でありました。

以来68年間、関西学院グリークラブは、恵まれた学院の宗教的雰囲気と、内外の温い御指導、そして、何よりも歌うことの好きな幾多の先輩達の努力によって、はぐくみ育てられて参りました。

中でも山田耕筈、津川圭一、由木康、林雄一郎、北村協一等の諸氏は私達の誇りとする大先輩であります。

6年前の第15回全日本合唱コンクールにおいて、我がグリークラブは戦後通算12回目、昭和35年より3年連続優勝を成し遂げ、3年前には、昭和29年に続いて、二度目の名誉ある招待演奏を行ないました。又38年3月には我国合唱会初の海外演奏旅行として、約二週間、台湾を訪問して参りました。そして40年秋にはニューヨークで開催された世界大学合唱フェスティバルに日本代表として名誉ある招待をうけ、ニューヨークの檜舞台で大成功をおさめました。又歌を通じて世界中の学生と兄弟の契りを結んだのでした。

このように関西学院グリークラブは、今や日本の関学グリーから世界の関学グリーに成長発展しつつあります。今日も又、グリー部員は、メンタルハーモニーをモットーに、より秀れた音楽を創り出そうと厳しい練習に励んでおります。



早稲田大学グリークラブ

私達早稲田大学グリークラブは、今年で30周年を迎えます。その母体は大正年間にあります。昭和14年5月、早稲田大学シンフォニックコーラスが結成された時をもって、早大グリークラブの発端と致しました。結成された年には、長野県の柏原で合宿をし、当地で録音して放送されその後は部員数約30名という状態で合唱活動を行っていたようです。そして第2次世界大戦中、一時、活動できない事もありましたが、1946年、大陸、南方から若者が帰ってきて再びハーモニーが、早稲田の杜にこだましました。このような暗い時代にも心から男声合唱を愛し続けた当時の先輩の、歌に、ハーモニーに対する真摯な追求心と愛情程、私達を感動させるものはありません。これこそグリークラブが幾多の試練をのり越える原動力があり、過去から未来へと受けついで行く最高にして最大のものでありましょう。

現在約150名近くのグリークラブは早稲田大学文化団体連合の中で最大の規模をもっております。そのグリーメンの生活は様々ですが平均的グリーメン像はいったいどんなものでしょう。まず身体（顔を含む）をみてみますと、全体として厚くがっちりしています。そして清潔です。これを一言でいうならば「厚み清し」ということになります。次に成績は実体はつかみにくいのですが可が山程あって優が三つ位。これも一言でいうならば「可山優三」というわけです。最後に性格ですがこれは「心無邪気ではがらかで」いわゆる平均的早稲田マンというところでしょうか。以上はあくまでも平均的ですから例外もいることをお忘れなく。そんなグリーメンも年頃、道ゆく女性に目をキョロキョロさせることなど珍らしくありません。

しかし、練習会場へ来ると厳粛そのもので、合唱を通じての音楽芸術追求に練習に励んでおります。そして、今年からその目的を果すべく常任指揮者に濱田徳昭先生、ヴォイス・トレーナーに田島好一先生をお迎えて、より高い音楽、グリーならではの輝きのあるハーモニーを目指しております。

三越アルバイト生募集!

*給料/1,220円~900円(実働8時に付き)、時間外勤務の場合は残業料支給

*勤務場所/日本橋本店・新宿・銀座・池袋各支店及び各別館

*期間/6月下旬から7月中旬ま

*申し込み/本店文書部又は各支店アルバイト係まで

電話/日本橋本店(270)3111・新宿支店(354)1111・銀座支店(562)1111・池袋支店(987)1111



お買物は小田急 レジャーは
ロマンスカー



小田急
TEL(342)1111大代表



黒と銀は 男性のブランド

黒と銀——MG5

男性の朝の儀式、ヒゲソリから始まって、整髪に、ヒフの手入れに、MG5はすっかり生活の中にとけこんでいます。男性がいまもっとも身近かに感じるブランド、それが黒と銀のMG5です。



資生堂イメージ-5





どこか遠くへ
 思いきって飛ばしてみませんか？
 ドライブしながら
 思わずハミングしたくなる
 軽快なスバルff-1のツーリング。
 いま
 若いカーファン諸君のあいだで
 噂の車です。



鮮烈なフィーリング
スバルff-1

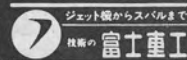
東海道現金正価(ただし添付品諸掛りは別途申受けます)

2ドア・セダン・STD
 (シングルラジエター・最高出力60ps/6,000r.p.m.)

44.1万円

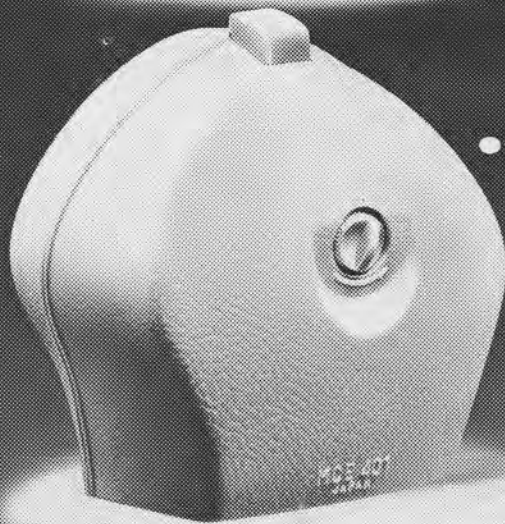
(以下全車種はデュアルラジエター標準装備)

2ドア・セダン=STD...46.4万円/DX...50.4万円/SDX...55.1万円
 4ドア・セダン=STD...50.1万円/DX...54.1万円/SDX...58.6万円



《乾電池》でうごく電子ブザーの目ざまし——セイコーミニコン

新製品



まったく新しい
 特長をそなえた
 便利な目ざましです
 いち度
 お使いになったら
 もう枕もとから
 放せません
 ●ゼンマイを巻く
 必要がありません
 ●乾電池1個で
 1年間もうごきます
 ●音は画期的な電子ブザー
 さわやかなひびきです
 ●ブザーのセットと
 ストップは
 上のボタンを押すだけ…
 ●安定した高精度で
 いつも正確です

高性能トランジスタ アラーム

セイコーミニコン

MCE-401……4,300円 色は白・濃赤 93mm×86mm

世界の時計
SEIKO

株式会社 服部時計店
 本社 東京・銀座



EXPO'70

